

ヤマノイモ科 ヤマノイモ属

オンドコロ (鬼野老)

Dioscorea tokoro Makino

自生環境

林縁、道ばた など

原産地

日本在来

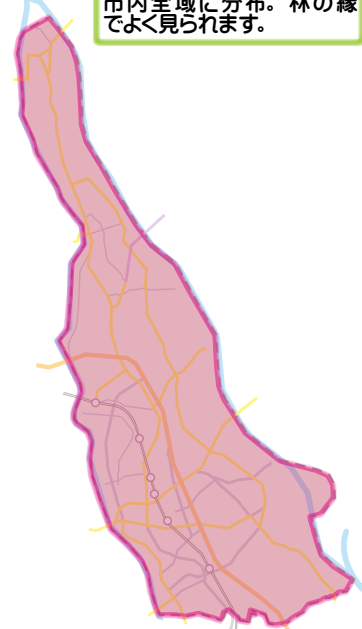
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に育つ野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域に分布。林の縁でよく見られます。



特徴

- ☆ つる性の多年草で、いわゆる自然薯（ヤマノイモ）と同じような場所に生え、しばしば一緒に生えています。イモは横に向かつてのび、何年もかけて太くなっていきますが、有毒で食べられません。表面に細かいひげ根が多く、これを「老人」に見立てて野原に生えるため、野老と書くと言います。
- ☆ 雌雄別株ですが、いずれも夏に葉わきから長い花の穂を出します。雄株の花の穂は横向き～上向きなのに対し、雌株の花の穂はのれんのようにぶら下がります。雌株のほうは秋になると細長い果実ができ、成熟すると花のように3つに開いて、中のタネを風とともに飛ばします。
- ☆ ヤマノイモは秋になると葉わきにむかごをつけますが、オンドコロはむかごはできません。また葉のかたちもヤマノイモに比べると丸みが強く、輪郭がうねうねとする傾向があります。

自然薯と間違えないで!

オンドコロはヤマノイモ（自然薯）そっくりですが、ジオスシンやジオスコリンなどの有毒成分を含み、間違えて食べてしまうと非常に危険です。ヤマノイモ掘りは、地上部が枯れた頃になりますが、イモのかたちはまったく異なります。ヤマノイモのイモは1本で、下に向かって地中深くにのびるのに対し、オンドコロのイモは枝分かれが多く、横に向かつてのびる傾向があります。

雄株



雌株



葉はヤマノイモに比べると丸っこい



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

